ビジョン

サステナブル・ビジョン2030

“短期の結果偏重”のサバイバル思考を脱却し、サステナブルな成長を実現していくために、2022年5月、「サステナブル・ビジョン2030」を策定しました。「Innovation」と三つのP(People、Planet、Prosperity)の視点を軸として社会課題解決への貢献を推進し「ゆたか」な社会の実現と企業価値向上のスパイラルアップを目指します。

『順理則裕』なすべきことをなし、ゆたかにする

めざす姿	**Innovation** 素材＋サイエンスで人と地球に求められるソリューションを創造し続けるグループになります			
2030年の社会変化・トレンド	安全・人権や社会正義への対応の標準化	医療アクセス・健康増進のニーズ拡大・多様化	人口動態変化・「人」中心のイノベーション・都市化の加速	脱炭素・資源循環・天然資源の制約

2030年のありたい姿

Prosperity 安心してくらせる「ゆたか」な社会の実現と企業価値向上のスパイラルアップ

❶ 事業を通じて社会の課題解決に貢献　❷ 持続可能な成長(しっかりした土台+未来への成長軌道)
❸ 現場が主役(安心・安全職場、誇りとやりがい、自己成長)

■サステナビリティ指標

重大インシデント	ゼロ
従業員エンゲージメントスコア	70%以上
GHG排出量削減 2013年度比(Scope1、2)	46%以上 2050年度 カーボンニュートラル
主力事業※における原材料のグリーン化比率 ※フィルム事業を想定	60%

■財務指標

連結売上高	6,000億円
営業利益率	8.3%以上
ROE	≧9%
ROIC	≧7%

貢献により解決する社会課題

People

1 従業員のウェルビーイング＆サプライチェーンの人権
- 「現場が主役」従業員の安全・誇りとやりがい
- サプライチェーン全体の人権尊重

2 健康な生活&ヘルスケア
- 感染症分野へ貢献
- QOL 向上へ貢献

3 スマートコミュニティ&快適な空間
- 「人」中心のデジタル社会実現への貢献
- 快適空間の創造

4 脱炭素社会&循環型社会
- カーボンニュートラルへ貢献
- 資源循環に向けたエコシステムの形成

5 良質な水域・大気・土壌&生物多様性
- ソリューションを通じて環境を良質化
- フードロス削減へ貢献

Planet

未来へつなぐチャレンジ

社会課題ごとのサステナビリティ目標

五つの社会課題	2030年度目標
従業員のウェルビーイング&サプライチェーンの人権	・全ての現場でゼロ災害達成 ・2025年度までに健康経営優良法人「ホワイト500」の取得 ・従業員エンゲージメントスコア:70%以上 ・サプライチェーン全体で人権尊重 ・従業員の教育・研修体系の拡充
健康な生活&ヘルスケア	・感染症診断薬等の提供を通じて貢献する検査回数:1,000万回/年 ・透析膜の提供を通じて貢献する透析患者数:25万人 ・生化学検査等の原料市場シェア:30% ・再生誘導材の提供患者数:10万人/年 ・三次元網状繊維構造体の医療・介護領域における普及・拡販
スマートコミュニティ&快適な空間	・DXを支える商品群の販売量拡大:2020年度比1.5倍 ・車室内空気清浄フィルターの販売:累計120万台 ・音・熱マネジメントによる電動車の快適車室空間の創出
脱炭素社会&循環型社会	[脱炭素社会] ・GHG排出量 Scope1、2削減率:46%以上(2013年度比) 2050年度にネットゼロ (削減貢献量＞バリューチェーン全体のGHG排出量) ・新規ソリューション分野への参入 (浸透圧発電、風力発電用の洋上ケーブル・絶縁樹脂、燃料電池車の電池接着シート、大規模蓄電池用電極材、水素関連材料など) [循環型社会] ・事業活動からの廃棄物最終処分率:1%未満 ・フィルムのグリーン化比率:60% ・資源循環エコシステム参画((株)アールプラスジャパン)
良質な水域・大気・土壌&生物多様性	・VOC回収装置の処理風量:70億Nm³/年 ・膜による海水淡水化:1,000万人分の水道水相当 ・フードロス削減に貢献する高機能フィルムの販売量:2020年度比4倍

(注)「従業員のウェルビーイング＆サプライチェーンの人権」は、マテリアリティ「人的資本」「安全防災」に対応。その他は同名のマテリアリティに対応。